



県政に勇氣！ 南魚沼に元氣！

ひぐち
秀 敏

元気通信

2022/9 第12号

発行責任者：柴田恵美子
南魚沼市塩沢1412-2 阿部アパート
ひぐち秀敏後援会事務所
電話・FAX：025-782-5233

来春は統一地方選

ひぐち県議が改選

来年4月には統一地方選挙が行われます。県議会議員選挙も行われ、ひぐち秀敏県議は改選を迎えます。ひぐち県議は当選後の3年5か月の間に、7回の一般質問をはじめ、連続する魚沼医療圏の持

合委員会での花角知事との一問一答のやりとりなどを通じて地域の声や、働く者の声を県議へ届けてきました。

魚沼基幹病院の循環器内科医確保をはじめとする魚沼医療圏の持続可能な医療提供体制の確立、コロナ禍で疲弊する民宿など小規模事業者にも行き届く観光振興策の推進、中山間地農業の維持・保全、感染症や自然災害にも

対応できる県組織の体制強化などを求めてきました。

県議会は定数53のうち、自民党が29人と過半を占め、少数者の声

9月25日に後援会総会

ひぐち秀敏後援会は、9月25日に後援会総会を開催します。コロナ禍の影響で2年ぶりの開催となります。2年間の活動を振り返るとともに、来春の県議選に向けた取り組みの確認と意思統一を行いま

日時・9月25日 (日)	18時～
会場・ほてる木の芽坂	

※ 感染状況により、延期等の場合あり。

県議会6月定例会で、魚沼地域の医療再編や原発事故に関する検証委員会のあり方などについて質問する、ひぐち県議＝7月15日



統一地方選挙

地方自治体の首長や議員を選ぶ選挙を統一して行う選挙のこと。次回が第20回。首長の辞職などにより、他の時期に実施される選挙も多い。

雪あり

新型コロナウイルスの感染者が急拡大し、B宣言が発令された。県内の病床使用率は8月29日現在49・4%とまだ高い■医療機関では職員にも感染者や濃厚接触者が拡大し人員不足に拍車がかかる。保健所も重症化リスクのある方への対応や住民からの相談に追われている■感染防止と治療にはマンパワーが必要だ。しかし、看護師や保健師が確保できないなど人員不足への対応は後手に回っていると言わざるを得ない■

政府は、感染者の全把握の見直しを進めている。人員不足から対応できずに見直すのでは、国民の命と健康は守れない■戦車や戦闘機では感染症には立ち向かえない。看護職員や保健師の増員こそが求められる。(ひ)

新潟県議会が県民に開かれた議会になつてゐるか、公正な議会運営が行われてゐるか、議会広報のあり方や役員の選出、議会の公開などから考えてみたいと思います。

議会広報の公平性求める

一般質問の年間人数配分	
自民党	28人
未来にいがた	8人
リベラル新潟	5人
公明党	3人、共産党 1人
無所属	述べ8人（各1回）

より」には2019年4月28日発行の第69号までは質問者の氏名が掲載されていませんでしたが、同年8月4日発行の第70号から質問

者の氏名と顔写真が掲載されるようになります。一步前進ですが、質問者がわかり明らかになつたことは、自民党議員の質問の掲載が多いことです。

掲載方法は左上のとおりで、代表質問者の

共産党1の12人です。
ひぐち議員も8月から

リベラル新潟、共産党も賛同しています。自民党は「現行で問題ない」「改選後に検討を」と直ちに見直す姿勢を見せていませんが、より公平な紙面に改めるべきです。

数は12人(22%)で、
自民党の4割に相当し

掲載質問数は党会派の所属議員数により配分されることになります。

広報委員になりました。
ひぐち議員が所属する
未来にいがたは、広報
委員会で「代表質問の

員数

自民党が委員長を独占

例会で、常任
特別委員会等

県議会における質問
回数や順番、派遣者の

決定などは政党、会派の議席数に応じた按分

もおかしくありません。
隣接5県のうち、三

「にいがた県議会だより」 質問・答弁の掲載方法

掲載数23問。質問者1人につき1問を割り振り、残掲載数については各党会派の所属議員数により配分。代表質問を行った党会派は、配分された質問数を代表質問に充てることを基本として掲載質問を選定。（「にいがた県議会だより」に記載の掲載方法）



更なる改革が求められる新潟県議会

現在、議員定数53のうち、自民党は29人（54%）です。保守合同で自民党が結成された1955年以降で60%を切つたのは、67年以来2度目という低さです。一方、第二会派の未来にいたる7人と第

形、長野、富山の県議会では、自民党が常任委員会の正副委員長を独占することなく、他会派の議員がその任に着いています。新潟県議会においても、より公平、公正な議会運営が求められます。

党会派別の議員数	
党	29人
こいがた	7人
ラル新潟	5人
党	2人、共産党 1
属	8人、欠員1

常任委員会の中継

新潟県議会は未実施

12府県議会では実施

新潟県議会定例会の流れは左図のとおりで、開の原則が定められており、開の原則が定められています。公開とは、「傍聴の自由」「報道の自由」「会議録の公表」をさします。しかし、地方自治法第115条に公表されていますが、会議録が公表されるのは次の5条にいう「会議」と委員会開会の直前です。新潟県議会においては、常任委員会の傍聴や会議録の公表は行われていますが、中継は行われていません。

都道府県議会におけるインターネット中継の状況ですが、本会議の中継はすべての都道府県で行われています。常任委員会の中継は12月1日現在)委員会の中継を実施するかどうかは、議会運営委員会で決めることがあります。議会運営委員会は申し合わせにより「原則として所轄議員5人以上の党会

のは本会議場で知事が答弁する連合委員会に限られ、委員会室での中継は31都道府県議会です。(いずれも、質疑の様子は中継されません。特別委員会についても同様で、一部の委員会のみ、又は会議の一部のみ実施を行っています)。

定例会の流れ

本会議

上程された議案を提出者が説明。常任委員会に付託



連合委員会(第1次)

部局長が議案を説明



本会議

県政全般について質問し、知事、部局長が答弁



常任委員会

付託議案について一問一答形式で質疑。部局長が答弁



連合委員会(第2次)

付託議案について一問一答形式で質疑。知事が答弁



常任委員会

付託議案について採決



本会議

委員長報告の後、討論を行い、採決

※ 網掛け部分の会議の様子は、中継及び録画でご覧ることができます。

常任委員会についても中継が行われれば、その場の雰囲気を含めて知ることができます。新潟県議会においても早期に実施されることを

ひぐち議員が所属する未来にいがたは、常任委員会も中継すべきと考えています。

リベラル新潟2人です。議会構成は、自民党6人、未来にいがた2人、ひぐち議員が所属する未来にいがたは、常任委員会も中継すべきと

常任委員会を中継している府県議会

栃木県、三重県、石川県※京都府、大阪府、兵庫県※奈良県、鳥取県、香川県佐賀県、長崎県、沖縄県

※一部の委員会のみ実施している県議会

ひぐち県議は、玄関先や街角でみなさんの困りごとや、ご要望などを聞かせていただいています。即答できないこともありますが、市議会議員や行政の力を借りしながら、課

玄関 先 から

題の解決に向けて奮闘しています。ときには難しい課題に直面し、悩むこともあるようです。ひぐち県議の日常活動の一コマを、エピソードも交えながらお伝えします。



「平成23年7月
新潟・福島豪雨」時
の、塩沢の時間最大
降水量は89・5ミ
リでした。この時よ
り降水量は少なく短
時間でしたが、被害
が出ました。川底に
堆積した土砂により、
河川の断面積が少
くなつたことが要因
でしたか、水か土手を
越えて田に流れ込む
被害が発生しました。

8月3日からの豪雨で県北地域に被害が発生しました。私の住む塩沢でも7月13日の夕方には1時間に36・5ミリの雨が降りました伊田川が増水したので伊田川が土嚢を積むなどしま

土砂を撤去し水害対策

被害を受け、県
地域振興局地域整
備部に早期の対応
をお願いしたところ、さっそく葦の
刈払いが行われました。8月下旬か
らは土砂撤去が行われ
ています。県内水面漁
業協同組合連合会の理
解にも感謝します。
他の河川においても
対策が進むよう、引き
続き求めていきます。
【降水量は気象庁ホー
ムページから引用】

県では水害を未然に防ぐため、河川改修のほか、川底の土砂の撤去や河川内の立木の伐採を行っています。伊田川も川幅を広げる改修工事を行っていますが、計画区間の国道17号まで工事が終了するのに10年ほどかかる予定です。このため、地元では国道17号から下流の未施工部分の土砂撤去を求めて

湯沢町では旧湯沢小学校跡地の一部を隣接する主水公園の区域として整備する予定ですが、整備に当たり、近隣住民の意見を聞くことになりました。

こうした動きの中、もつと住民の声を聞いて公園整備に反映させたいと署名活動を行っている方から連絡がありました。

基本設計は2017

4月に入り、消えかかっていた横断歩道の多くが塗り直されました。黄色い帽子の新一年生だけでなく、保護者や地域のみなさんも喜んでくれました。時を前後して道路のセンターラインや側線も多くの所で引き直されました。

車の運転席から見ていると、センターラインの輝くような白色に

横断歩道は安全に厚化粧

比べ、横断歩道は少し黒ずんだような白色に見えました。横断歩道は警察署が、センターラインや側線は道路管理者が引き直すので、施工業者の違いかな、と思いましたが、県警察本部に確認してみました。すると、色の違いには明確な理由がありました。

横断歩道の上は車の通行が多く、センターラインより摩耗が激しいため、摩耗に強い塗料を使っているそうです。成分も違うので、色も違うとのことです。

さらに、耐久性を高めるため、センターラインより厚く塗られていて、単価も高いそうです。横断歩道は安全のために厚化粧をしていました。

湯沢町では旧湯沢小学校跡地の一部を隣接する主水公園の区域として整備する予定です。整備に当たり、近隣住民の意見を聞くことになりました。

年に決定されていて、大幅な変更が難しい段階にある中で、整備の「計画変更」に認識の相違もあつたようです。が、住民がまちづくりに参加しようと署名活動を取り組んでいることに感心しました。町には、可能な範囲で意見を取り入れてほしいこと、住民の自発的な取り組みを尊重してほしいことを伝えました。数日後、SNSに「新潟温泉沢町にスケートボードパークを創る」という署名を見つけました。スケートボードパークは変更要望の一つでもあります。住民の声をまちづくりに反映させようと、する姿勢に賛同し、私も署名させていただきました。